

市内小学生が和紙漉き

## 自分たちの卒業証書を自分たちの手で

1月17日、岳下小学校6年の児童たちが自分たちの卒業証書の台紙を作るため、二本松市和紙伝承館で和紙漉きを行いました。毎年市内の小中学校数校が、上川崎地区に古くから伝わる和紙を自分たちの手で漉き、自分たちだけの卒業証書を作っています。水がきれいで繊維に不純物が入りにくいなどの理由から、寒い季節に漉くことが多い和紙。児童たちは冷たい水に手を入れながら、真剣な表情で作業をしていました。



初めての和紙漉きを体験する岳下小の児童たち

第2回にほんまつ菓子博

## 城下町にほんまつのお菓子が一堂に集結

二本松の伝統和菓子や人気洋菓子を一堂に集めた「にほんまつ菓子博」が1月20日、市民交流センターで開かれました。会場には市内の老舗から新しい店まで16店が出店し、自慢のまんじゅうや洋菓子などが特別価格で販売されました。また会場内では、上生菓子などの菓子作り体験や安達高校茶道部による大寄せ茶会なども行われ、来場者は楽しいひとときを過ごしました。



会場はたくさんの来場者で埋め尽くされた

## 二本松市新エネルギー推進市民会議「小泉純一郎氏講演会」 原発ゼロと新エネルギー推進、日本ならできる

原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟の顧問を務める小泉純一郎元首相の講演会が1月23日、市民会館で行われました。『日本の歩むべき道』と題して行われた講演では、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故後、国内のほぼ全ての原発が停止しても電力不足による停電が発生しなかったことに触れ、日本なら脱原発と新エネルギーの推進は可能だと強調。「本気で取り組みれば、数年の内に自然エネルギーは原発に取って代わることができる」と語られました。



脱原発と新エネルギー推進を強調する小泉元首相

## 全国都道府県対抗男子駅伝競走大会で悲願の優勝 6区を力走した穴戸結紀くんが喜びの報告

1月20日に広島市で開催された「第24回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会」において、福島県チームは東北勢悲願の初優勝を果たし、6区3.0kmを走り優勝に貢献した東和中3年の穴戸結紀くん(太田)が、優勝報告のため1月29日に市役所を訪れました。穴戸くんは昨年全国中学校体育大会に1500mと3000mで出場するも、満足な走りができなかったため、今回はその悔しさをレースにぶつけたそうです。「将来は、箱根駅伝に出場して優勝に貢献したい」と力強く語ってくれました。



優勝メダルを手にする穴戸くん(右)



三の丸関係の古地図を説明する三保市長(右)と内堀知事(左)

## 内堀知事と懇談

### 一緒に二本松をPRしていくことを確認

2月5日、内堀雅夫 福島県知事が市役所を訪れ、三保市長と懇談しました。懇談では、市で進める二本松城三の丸御殿の復元や地域医療の充実について三保市長から説明があり、内堀知事と意見を交わしました。最後に内堀知事から「二本松には日本酒や桜、菊人形など、国内外に誇れるものがたくさんある。一緒にPRしていきましょう」という力強いメッセージがありました。



## 元気な児童生徒育成支援事業(スキー教室)

### スキー場で冬の二本松を満喫

1月から2月にかけて、市内2カ所のスキー場で、市内の小学4・5・6年生と中学1年生を対象としたスキー体験活動が行われました。写真は2月7日にあだたら高原スキー場で行われた二本松北小学校の活動の様子。この日は晴天に恵まれ、少し動くと汗ばむぐらいの暖かさの中、インストラクターの方々の丁寧な指導により、どの児童もスキーの技能が向上し、参加者全員が地元二本松の冬を満喫していました。



賞状と盾を手集合写真を撮る関係者ら

## 第35回 福島県建築文化賞

### 城山市民プールが優秀賞を受賞

第35回福島県建築文化賞の表彰式が1月23日に福島市内で開催され、城山市民プールが優秀賞を受賞し、その報告のため、同プールの設計者と工事施工者が2月8日に市役所を訪れました。城山市民プールは霞ヶ城公園に隣接することから、周囲の景観を損なわないよう、敷地の傾斜を活かして建物が配置されていることなどが評価されての今回の受賞となりました。市役所へは、株式会社関・空間設計と、菅野・ヤマニ特定建設工事共同企業体の代表者らが訪れました。



講演する大和田さん

## にほんまつ産業活性化セミナー

### 人と人とのつながりの重要性を再認識

2月14日二本松御苑において、市内の経営者などを対象とした「にほんまつ産業活性化セミナー」が開催され、約60人の方々が参加しました。第1部では、東和地域で活躍している福島ルビコン株式会社の企業プレゼンテーションのあと、元ラジオ福島アナウンサーで、現在もフリーアナウンサーとして活躍している大和田新<sup>あらた</sup>さんが「伝えることの大切さ 伝わることの素晴らしさ」と題して講演が行われ、参加した方々は熱心に聞き入っていました。